

令和5年度 公益財団法人長野市スポーツ協会事業報告書

1 競技スポーツ振興事業

当協会の定款に掲げる目的である、「スポーツに関する事業を行い、市民の健康の保持増進、体力の向上及びスポーツ精神を養い、もってスポーツの振興に寄与すること」を達成するためには、加盟団体の主体的な活動を促し、支援することが不可欠なことから、加盟団体が主体的に取り組む事業や活動に対して、負担金の交付による財政支援を行った。

(1) 加盟団体実施事業負担金交付事業

当協会の重点目標《競技人口（加盟団体の会員）の拡大、競技の普及・振興、加盟団体の運営基盤強化、競技力の向上》を加盟団体と共有し、実現に向けて、加盟団体が実施する主体的な取組みに要する経費の一部に対し、加盟団体実施事業負担金交付事務取扱要領に基づき、負担金を交付した。

37 団体合計 20,474,000 円

2 スポーツ普及事業

＜スポーツ協会直営事業＞

市民のスポーツ活動を奨励し、地域におけるスポーツの普及および選手育成を支援した。

(1) スポーツ少年団育成事業

スポーツ少年団育成や指導者の養成のため、団活動への補助や、指導者養成講習会等への参加費の補助を行った。

また、競技別交流大会等への参加費の補助を行った。県スポーツ少年団競技別交流大会では、8月6日に行われた卓球、9月24日に行われたラグビーで運営を支援した。

令和3年度登録 30 団

令和4年度登録 31 団

令和5年度登録 30 団

(2) 研修会開催事業

インテグリティ（誠実性・健全性・高潔性）を高めるコンプライアンスの徹底、競技団体のガバナンス強化に加え、選手及び指導者の専門的な知識を高めることを目的として研修会を開催した。

（スキルアップ研修会）

10月25日（水） 長野市ふれあい福祉センター 5階ホール 参加者 36名

講師：松下 信武氏（ゾム代表）

演題：『スポーツ心理学からみた一流選手を育成する方法』

（スポーツ・インテグリティ研修会）

1月29日（月） 長野市ふれあい福祉センター 5階ホール 参加者 31名

講師：櫻井 康史氏（一般社団法人スポーツ・コンプライアンス教育振興機構 代表理事、弁護士）

演題：『スポーツ界からの暴力行為根絶に向けて』

(3) 国体選手等壮行会開催事業

特別国民体育大会本大会 出場者への壮行会を開催した。第78回国民スポーツ大会冬季大会については、出場選手の発表が大会開催直前であったことから、壮行会は開催しなかった。

期日：9月27日（水） 長野市ふれあい福祉センター 5階ホール
16競技30名（長野市関係）

(4) **国際大会・国体出場激励金支給事業**

国際大会、国体に出場する選手等に対し、激励金を支給した。

国際大会：3競技5名（選手）

国体：会期前大会及び本大会：63名（選手・監督）

冬季大会：13名（選手・監督）

(5) **スポーツ功績者表彰事業**

スポーツの振興、競技力向上に功績のあった者や、競技会等において、特に優秀な成績を収めた選手、指導者を表彰した。

功労1名、栄光76名、勲功7名

(6) **スポーツ大会・教室開催広報支援事業**

加盟団体が主催する大会及び教室について、長野市の広報紙への掲載手続きや施設予約、名義後援等の支援を行った。

(7) **機関誌発行及びその他の広報活動事業**

スポーツの普及啓発を図るため、加盟団体やスポーツ少年団の活動の紹介等を掲載した、広報「スポーツナガノ41・42号」を発行した。また、ホームページにより、加盟団体ならびに市民に対し、スポーツ情報を発信した。

3 自主財源の確保

事業の充実のため、個人及び法人の賛助会員の増加を図り、自主財源の確保に努めた。

令和3年度賛助会費：個人149名、法人89社、加盟団体32団体

令和4年度賛助会費：個人156名、法人84社、加盟団体17団体

令和5年度賛助会費：個人119名、法人84社、加盟団体20団体